

【スライド1枚目】 開始～0分14秒

日本たばこ産業株式会社関西工場の大井と申します。
弊社の取組を御紹介します。

【スライド2枚目】 0分14秒～0分25秒

目次のとおり、次の5つを御説明いたします。

【スライド3枚目】 0分25秒～0分59秒

「工場内リサイクル分別箱の設置。廃棄物を細分化し有価物取引量増を推進」として、スライド右側の写真のように、「リサイクル分別箱」として、細目毎のごみ箱を設置しています。

また、分別を間違えたり、わからなかったりすることがあるため、スライド左側の写真のような「ゴミ分別判定表」を作成・掲示しています。

【スライド4枚目】 0分59秒～1分46秒

「新入社員、配転者へのごみ分別教育の実施」として、新入社員や他の拠点からの配転者に当工場の環境方針を説明しています。スライド左側に記載のとおり、弊社弊工場の安全・品質・環境に係る目標を宣言したものです。その中では省資源・省エネルギーの推進についても記載しています。

また、机上での説明だけでなく、実際に廃棄物ステーションに足を運び、分別方法を指導しています。

【スライド5枚目】 1分46秒～2分43秒

「分別違反について環境管理委員会での全体発信」として、毎月1回、環境管理委員会を開催し、廃棄物以外の環境に係る目標値の達成状況、取組状況を共有しています。

産業廃棄物は技術部が管理しているものの、他の部署も排出するため、分別間違いをすることがあります。それらは委員会を通じて周知し、対策を講じています。

【スライド6枚目】 2分43秒～3分12秒

「巡回による廃棄物分別状況チェック」として、廃棄物置場の巡回だけでなく、臭気や音についても工場外周の巡回を実施しており、この運用を引き続き実施していきたいと考えています。

【スライド7枚目】 3分12秒～4分12秒

「有価物取引量の増」として、たばこを製造する際に発生する葉屑について、現行はサーマルリサイクルとなっているものもあり、処理の際にCO₂が発生しています。

今後は肥料化等の有価物化をさらに増やして、地球環境負荷低減を図っていきます。

また、たばこ製品の包装材料について、パッケージ分別を強化し、有価物取引量を増やしていきます。

これらにより、2030年までに全廃棄物の内、50%を有価物として排出できるよう、今後も分別・リサイクル活動を推進していきます。

【スライド8枚目】 4分12秒～4分14秒

御清聴ありがとうございました。